

平成27年度 第1回花見川区公民館運営審議会 議事録

1 日 時 平成27年6月30日(火) 午後2時00分～午後3時50分

2 場 所 幕張公民館 講堂

3 出席者 出席・・・13名(定足数8名>7名=13/名)

竹内昌夫委員、東野陽子委員、宇野勝男委員、鶴岡義昭委員、小嶋 昭委員、
吉田とし子委員、大矢建三委員、橋本好恵委員、服部恭子委員、門脇昌子委員、
野村佳代子委員、橋本香代委員、清水幸子委員

欠 席・・・2名 林 徳子委員、永島伸浩委員

(事務局)

永野館長、斉藤副館長(幕張)、村松館長(花園)、平川館長(犢橋)、
川田館長(検見川)、小原館長(花見川)、鈴木館長(さつきが丘)、
関 館長(こてはし台)、松戸館長(長 作)、三野宮館長(朝日ヶ丘)、
成毛館長(幕張本郷) 若梅主査補、渡部囑託主事(幕張)

4 審議会

(1) 議事録署名人の選出

(2) 議事

① 承認事項

議案第1号 平成26年度 事業報告について

- ・平成26年度 公民館主催事業報告
- ・平成26年度 花見川区事業報告

② 報告事項

平成27年度 事業計画について

- ・平成27年度 公民館主催事業計画
- ・平成27年度 花見川区事業計画

③ その他

5 審議会の概要

(1) 開会のことば(進行:斉藤副館長)、委員長あいさつ(竹内委員長)の後、議事録署名人の選出を行い、2名の委員が議事録署名人に指名された。

・議事録署名人:大矢建三委員、橋本好恵委員 ・傍聴人:0人

(2) 承認事項(議案第1号 平成26年度の事業報告について)と報告事項(平成27年度事業計画について)を一括して提案説明をした。

(3) その他

永野幕張公民館長から、幕張公民館が10月から11月まで空調設備改修工事のため2か月間休館することと、犢橋公民館が建て替え工事のため2年間の閉館になることが知らされた。その後、資料が配られ、平川犢橋公民館長から新しい犢橋公民館の概要についての説明があった。

6 会議経過

<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>・15名中13名の出席、千葉市公民館管理規則第12条第1項の規定により成立。千葉市情報公開条例等に基づき公開となっており、議事録作成のため、録音します。</p>
<p>竹内 委員長</p>	<p>・審議前に議事録署名人に、大矢委員と橋本委員を指名。 ・審議に入ります。各公民館の承認事項、報告事項を合わせてお願いします。</p>
<p>斉藤 幕張公民館副館長</p>	<p>・幕張公民館では、26年度36事業を実施。家庭教育事業の幕張小体育館で実施したアンサンブルコンサートは幕張中学校の吹奏学部の協力を得て、会場設営や司会進行など地域との連携として良い事例。成人教育では、新事業としてAEDを使った救命講習会や米粉を使った千産千消料理など社会状況を見据えた事業を行った。 27年度の事業計画について説明します。10月、11月が空調設備工事があり、その関係で事業数が少なくなっている。今年度は17事業を予定し、「郷土千葉を知り歩こう」は既に開始している。今年度7年祭ということもあり、申し込みから1時間で定員になった。地域連携事業として神田外語大学の学生と連携し、夏休みの子どもたちに英語やダンスを楽しみながら学んでもらうことにしている。その他、話し方教室や高齢者向け講座などを設けている。</p>
<p>村松 花園公民館長</p>	<p>・26年度の事業報告です。空欄に「家庭教育」と入ります。家庭教育は9事業実施。新規事業として3か月以上0歳児のベビーマッサージの講座を実施。少年教育では子ども事業として8事業を実施。子供チャレンジの「パンを作ろう」は応募者が多く、3回から4回へ増やした。成人教育では4事業を実施。初めての尺八ではほとんどが初心者であったが熱心に取り組み、講座終了後サークルとして立ち上がった。高齢者教育では、年間を通じて10回実施。その他、防災講座では避難所開設の課題等の検討や防災グッズ作成し話題提供をした。 27年度主催事業計画では、継続14事業。新規10事業。新規の家庭教育事業として、畑小、花園小、瑞穂小、花園中の保護者会役員を対象とした教育座談会等を含めた9事業。少年教育では、子供チャレンジで4つの新事業を含め8事業。高齢者教育では花園チャレンジ大学で今年は参加者同士で今年のテーマを決めるという新しい方法で取り組んだ。その他では新3講座を含めた全4講座を実施した。</p>
<p>平川 犢橋公民館長</p>	<p>・26年度の事業報告をします。実施した16事業の中のパソコン初心者講習では定員10人のところ2.4倍の応募者があった。小学生を対象とした「エコキャンドルづくり」や「水てっぽうづくり」、成人教育の「おりおりの折り紙教室」や女性教育の「お正月花飾りづくり」については定員以上の応募があり、講師と相談をして応募者全員に参加してもらった。園芸講座では、犢橋公民館にてボランティアで庭の手入れをしている方々がアシスタントとして協力、受講者との交流の中で、受講</p>

	<p>者がサークルに加入するに至る。公民館の活動を通して、地域の方との新たなつながりが形成されることはとてもうれしいことである。16事業で出席者数353名の人たちが公民館を核として生涯学習の輪が広がってくれたらと思う。27年度の事業について説明します。地域の要望に見合った事業として17事業を計画した。4つの新たな事業として、「クリスマスツリーの飾りを作ろう」25年度に実施して復活した「クリスマスケーキづくり」。成人教育の「楽しい水墨画」、26年度は少年教育だった「中華料理づくり」を高齢者向けにして行う。その他13事業については一部テーマを変更しつつ実施していく予定。</p>
<p>川 田 検見川公民館長</p>	<p>・18事業を実施。成人教育の中の「詩吟教室」「写真教室」「きものリメイク」「点字講習会」はサークル連協に協力してもらうことで、新しくサークルに入会する人が増えると好評であった。27年度の事業報告について、すでに実施している少年教育の「春の映画会」では子ども達の安全面を考え「知っておこう小学生の携帯電話」など3本の短い映画を上映した。成人教育では、昨年度、サークル連協からの参加申し込みをいくつか断った経緯があり、今年は希望のあった4サークルすべてに参加をお願いしている。検見川公民館の運営懇談会を開いた際、子供たちの心を育てることも必要ではないかという指摘があり、模索しているところである。</p>
<p>小 原 花見川公民館長</p>	<p>・26年度は13の主催事業を実施、講座回数は24回。家庭教育は2つの事業に分け4回実施した。回を追うごとに人数が増え和やかな講座となった。少年教育では5つの事業を実施、マナーリ化を検討していくことも必要。成人向け事業は高齢者も含め4つの事業。パソコン講座は人気講座でもあり抽選で定員を決めた。高齢者教育の「認知症の現状と予防」は千葉県保健委員協会のボランティアで、現役の医師に話してもらった。その他のラテン音楽のコンサートは大人気で可能な限り受け付けた。27年度の事業は13事業、24の講座。少年教育は人気度を考慮しながらモノづくり、食べ物づくりなど5事業。成人向け事業として5つの事業を企画、継続要望の多かったもの、高齢者対策や健康志向のものを考えている。また、その他として、昨年人気の高かったコンサートを予定している。</p>
<p>鈴 木 さつきが丘公民館長</p>	<p>・26年度17の事業を実施した。家庭教育学級では親子で3つの事業を展開、「房総太巻き寿司づくり」はサークル化した。少年教育では5事業、夏、冬の映画会は小学生に公民館に親しみをもつきっかけづくりになったのではないかと。成人教育では7つの事業を実施。新規事業の「寄席」は地元のセミプロの咄家、健康教室は地元の医師を講師にお願いした。高齢者教育では安心ケアセンターから、介護支援専門医をお願いし、認知症の講座を開いた。27年度事業計画の成人教育の健康づくり教室「日本人の三大成人病」は「すぐ効く漢方、ゆっくり効く漢方」と改める。家庭教育づくりでは、お菓子作りを中心に開催した。少年教育では、学校休業の日子ども居場所づくりとして、公民館を身近に感じてもらうために、書道、工作、映画会を企画した。新規事業として、日本の伝</p>

<p>関 こてはし台公民館長</p>	<p>統文化に親しんでもらう目的で、子ども学業教室を企画している。成人教育では新規事業として、「やさしいそば打ち教室」を企画、サークル化を期待している。当館で活動しているサークルの早春ファミリーコンサートを開き、家族みんなで楽しめる活動と考えている。</p> <p>・本館の主催事業の特徴は、年間を通して繰り返し実施している事業が多い。7から10以上が3事業。3から4回が4事業あり、地域にかなり定着しているといえる。これらの事業は、継続して欲しいという要望を受けて開催している。習得が難しいとされる囲碁・将棋は25年度から26年度へ継続している人は囲碁が2人、将棋が15人。成人教育の「落語」は希望者が多く関心の高さが伺える。高齢者教育の「自分史作り」は人気があり、回数を増やしたいと考えている。</p> <p>27年度は2つの新しい事業を加え、18の事業を予定。成人教育に「花づくり」講座、高齢者教育では人気のあった「自分史作り」と「相続と遺言」講座を企画。継続している16事業は、内容や開催方法をさらに工夫を加えていきたいと考えている。</p>
<p>松戸 長作公民館長</p>	<p>・訂正として、成人教育の「春のコンサート」を削除。26年度の事業は16事業。家庭教育学級は天戸中、長作小、作新台小の文化部が協力し合いアロマセラピー、ヨガなどの講座を実施した。少年教育は5事業実施。子どもスクエアダンスは4回実施、サークル活動との連携で有意義であった。成人教育では4つの事業。団体グループ活動の助成では公民館の災害時における公民館の位置づけ予約システムについての説明をした。その他の事業として「長作寄席」がボランティアの人たちで実施。春のコンサートもサークル活動の団体で実施した。27年度の事業計画のうち、家庭教育学級は内容を検討後、秋以降に実施される。その他茶道の体験講座や生活習慣病の予防や認知症など関心の高い講座を計画している。</p>
<p>三野宮 朝日ヶ丘公民館長</p>	<p>・26年度の事業において、朝日ヶ丘公民館の運営の重点でもある「社会的課題の解明」「地域のニーズに合った講座の企画、運営」という観点から「地震」をキーワードに実施してきた。新潟中越地震から10年の節目として、少年教育では「山古志村のマリと三匹の子犬」を上映。大震災から4年目にあたることから成人教育の防災講座では段ボールトイレ作り方を実施し地震の怖さ対応などを学んだ。少年の公民館及び公民館図書室利用を促進するため、主催事業と図書室の連携を図る企画として、おたのしみ映画会で上映した作家の作品コーナーなどを設置した。27年度実施計画では26年度を振り返りながら、継続17、新規5の事業を計画。「食を通じた地域の健康づくりの推進」を目的とし、食生活改善推進委員に協力頂き家庭教育、女性教育の2領域で講座を実施。家庭教育では「もみもみ まきまき」を予定、女性教育では「野菜たっぷり減塩レシピ」を本日実施してきた。継続事業では、主催事業と図書室の連携を図る取り組みを一層強化していく。</p>

成 毛 幕張本郷公民館長	<p>・26年度は家庭教育からその他まで20事業、28回。応募者数は一講座あたり平均29人で25年度の22人を上回った。家庭教育では子育てに関する講座が2講座。少年教育のものづくりを中心に7講座。若年層から高齢者までの成人教育では7講座。さらに、地域の絆づくりを目的とした当公民館の音楽サークルの幕本ジョイントコンサートを開催し、好評だった。27年度の主催事業計画は、26年度の事業を振り返り、地域性を考慮しながら、それぞれの年齢層を対象にした講座開設が求められている。少年教育では心を豊かに育てるために「秋の味覚をモチーフに絵手紙を描こう」、成人教育では、伝統文化や手作りの良さを知ってもらうために「初めての茶道体験」「大人のパン作り」を実施した。高齢者の生活をさらに充実させるため「シニア向けスマートフォン教室」、地域の絆づくりの一環として当公民館で活動しているサークルによる幕本ジョイントコンサートをさらに充実させたい。また、子供たちの学習の成果を地域の方々に紹介する機会を作るため、作品展を計画している。</p>
竹 内 委員長	<p>・ありがとうございます。次に花見川区事業の26年度の事業報告をお願いします。</p>
永 野 幕張公民館長	<p>・承認事項の26年度事業報告から説明します。公民館事業の施策体系5分類の中の「家庭教育」に分類される「子育てママのおしゃべりタイム」を実施。内容は、子育てサロンを運営し、子育てサポーターや家庭教育アドバイザーが相談に応じながら仲間づくりを支援する事業である。この事業は千葉県第4次生涯学習推進計画で27年度まで位置づけられ、各区で行われている。花見川区では、幕張公民館で実施されている事業である。千葉県教育委員会から委嘱された子育てサポーターが中心となり、気軽に相談や情報交換を行っている。昨年度は23回実施。延べ456人が参加している。</p> <p>次に、報告事項、平成27年度花見川区事業計画は、今年度も子育ての様々な育児相談を子育てサポーターとともに解決していくということから「子育てママのおしゃべりタイム」を開催していく予定である。サポーターは昨年度同様の5人、開催回数は幕張公民館が10月11日が工事で閉館になるため、年間21回の開催予定である。</p>
竹 内 委員長	<p>・承認事項の26年度事業報告について、質問等がありましたら挙手をお願いします。</p>
大 矢 委員	<p>・長作公民館へ、「家庭教育学級」の中身を紹介して欲しい。スクエアダンスがどうして回数が減ってしまったのか。</p>
松 戸 長作公民館	<p>・毎年、それぞれの学校でPTAと一緒にテーマを話し合う。昨年度は、アロマセラピー、ヨガ、正月料理のだしの取り方などです。スクエアダンスは、人数を集めるのに苦労した経緯があり、3回を1回にした。</p>
大 矢 委員	<p>・「おおむね好評」「心身の向上に意義があった。」というような抽象的</p>

竹内 委員長	<p>な表現よりも実際の様子が見える報告でないと、勉強する報告会にならないので、次回からは、本音の報告がなされるようお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのほかありませんか。
服部 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・さつきが丘公民館へ、夏の子ども映画会、冬の子ども映画会は何を上映したのか。さつき映画会は「シャレード」とわかっているのだが。
鈴木 さつきが丘公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を用意していないため、いま、お答えできないので、後日連絡します。
服部 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・定員50人のところ49人も集まっているので知りたいなと思いました。もう一つ、花見川区の事業「子育てママのおしゃべりタイム」で20組の定員で応募者数、学習者数が456名というのは、最初の申込者のみ継続参加なのか、途中からでも参加できるものなのか。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・お答えよろしく申し上げます。
永野 幕張公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回20組が定員であり、その都度自由参加になります。
服部 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者数が参加者数ということですね。
永野 幕張公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのほかありませんか。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・さつきが丘公民館に伺います。「危険なめまいと安全なめまい」というテーマはかなり専門的な内容ですが、医師が講師なのでしょうか。
鈴木 さつきが丘公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうです。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのほかありませんか。無いようですので、平成26年度承認事項として、公民館事業報告について承認してよろしいか。 <p>(拍手)</p> <p>ありがとうございます。承認されました。</p> <p>次に、平成27年度の事業計画について、質問ありませんか。挙手をお願いします。</p>
大矢 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・検見川公民館はサークル活動が活発であると伺っているが、さつきが丘のクラブ連協が今年度解散し、今年度の文化祭などはやらない方向である。その原因は会員が高齢化し、活動していくのにとっても疲れてしまうこと、近くに「花見川いきいきセンター」ができ、煩わしさがなく、

	<p>楽しければいいらしい。公民館からの性格からみると、若干の違和感があるが、検見川公民館のサークルが活発なのは平均年齢が若いからか、サークル自体が比較的若いのか教えてほしい。</p>
<p>川 田 検見川公民館長</p>	<p>・サークル連協に49団体が加入し、月1回の定例会がある。情報交換をしながら使いやすい公民館を目指している。年齢的にはかなり年配も多く、70歳以上がほとんどと思う。若い人が入ってほしいと思っている。過去の統計を見ると使用回数は減ってきているが、使用人数は増えているのでサークル連協の人数が増えているので、活動は活発なのだろうと思っている。無料でサークル連協の体験学習会があり、宣伝している。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・よろしいでしょうか。</p>
<p>大 矢 委員</p>	<p>・ありがとうございます。</p>
<p>清 水 委員</p>	<p>・花園公民館の新事業家庭教育学級の「子どもたちを考える座談会」は、どんな形で行ったのか。小中連携が大切と思っているので、関心をもった。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・よろしいでしょうか。お願いします。</p>
<p>村 松 花園公民館長</p>	<p>・昨日、実施した。昨年度からの計画で、公民館は学校との関係をもっと深める必要がある、公民館が地域の方にもっと利用していただくためには学校の保護者の方に、もっと関心を寄せてもらうことが必要だろうと考えた。4校の中の1校の校長先生にコーディネーター、4校の教務主任の先生にパネラーになり、それぞれの学校の課題や成果を出し、質問を受ける形でPTAの方に話し合いに参加してもらい1時間45分話し合った。保護者全員の参加は難しいので4校のPTA役員の方にお問い合わせし26名の参加があった。アンケートには、教務主任の話を聞くことや話し合う場というのは、なかなか無いのでとても良い機会だった。来年度は、テーマを絞る案も出た。例として情報モラルやスマホ、薬物関係などがあがった。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・よろしいでしょうか。とても前向きな会合がもたれているようなので、他の公民館も参考にしていけるとよいと思います。その他ありませんか。</p>
<p>大 矢 委員</p>	<p>・区事業の「子育てママのおしゃべりタイム」の予算について、さつきが丘公民館でも同じようにやっているのだが、平均的に割り振ることができないのか。</p>
<p>竹 内 委員長</p>	<p>・お答えをお願いします。</p>
<p>永 野 幕張公民館長</p>	<p>・教育委員会が委嘱している市の事業であり、登録している子育てサポーター、アドバイザーの方が派遣されて行っている。花見川区では幕張</p>

	公民館が集まりやすい立地条件から会場になっている。
大 矢 委員	・同じことをやっているのに、なぜ予算配分されないのか。あちこちの区から集まっているので予算を使うのはよい。さつきが丘公民館が手弁当でやっているのに予算がつけられないのかということを知っているのだが。
竹 内 委員長	・関連してですか。
野 村 委員	・はい。区の事業を幕張公民館でやっているのですが、幕張公民館自体でも、子供を集めた同じような事業をやっている所以他と同じだと思う。幕張公民館独自の事業もお金を使わずに、民生委員や児童相談員の人がやっているのとは別の話なのでしょうか。
竹 内 委員長	・市の委嘱に基づいてスタッフが派遣されてくるとすれば、委嘱されたスタッフをさつきが丘公民館に派遣するようなことは可能なのか。
永野 幕張公民館長	・月に2回を5人のローテーションで実施しているが、要望があれば会場を他館で実施することはやぶさかではない。
竹 内 委員長	・基本的にはスケジュール調整をして、幕張公民館に依頼があれば区の事業として可能だということか。
永 野 幕張公民館長	・生涯学習振興課と年間計画を立てているので、事前に、生涯学習振興課と相談し、調整してからになる。それと、ボランティアの報償費と市の事業費とは分かれています。
竹 内 委員長	・市の事業予算は、スタッフまで含めた予算で派遣されてくる。ということは、実質的な費用はスタッフ受けた花見川区へあるわけではないのか。 ・整理させていただきます。市の事業としてやっているスタッフを使ってこのようにやるという、これに関して説明をお願いします。
橋 本 委員	・花見川区の子育てサポーターをしています。いろいろな経緯は、永野館長がお話した通りです。私たち子育てサポーターは、公民館で依頼があれば幕張公民館を通して、派遣ではなく活動できるということでアドバイザーとサポーターで伺うことができます。
竹 内 委員長	・その時に、報償的なものはどうなるのか。
橋 本 委員	・交通費込みという形で、幕張公民館が一括して市の方から補助金としておられているので、その中から支払う。
竹 内 委員長	・登録されている方が対象で、その方以外は対象にならないということですか。

橋本 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーターは区で5人登録されている。その5人が千葉市から委嘱され、研修もして活動しているので、他から参加するということはない。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局、お願いします。
若梅 主査補	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭教育支援基盤形成事業」ということで、昨年度から千葉市が国の補助金を受けている。一般の公民館の報償費、謝礼というのは千葉市の経常予算から支出している。子育てサポーターの補助金は、謝礼と研修費が含まれており、今まで、研修は自己負担であったが、平成26年度から1回2,000円の予算がついている。子育てサポーターの予算というのは、臨床心理士、子育てサポーターの謝礼金とサポーターの研修費ということで予算がついている。幕張は研修熱心なので、他の区の中核公民館より、不足額を追加で頂いた。幕張公民館を拠点として、子育てサポーターが地域の子育て支援として活動している。国の補助金も含めた千葉市の予算で、幕張公民館が支払っているということを理解していただきたい。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいでしょうか。
吉田 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大矢委員からは、前回も今回も補助金を振り分けてほしいというお話でした。花見川区の年間の区事業です。ボランティアを募って本当に素晴らしい事業です。もし、国の補助金から補助がなければ、各公民館が出さなければいけない。そうすると大変なことで、区のために出ているお金は無駄ではない。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この方々というのは子育てサポーターということで、研修を受けた方で承認された方の活動のみに費用が支払われる。幕張公民館の一部をスタッフを含めてお貸しするといった方向はとれるということですね。計画段階で希望を聞いて、何回かは、派遣していくということは可能だと理解してよろしいか。
永野 幕張公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習振興課と協議させてください。
門脇 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・かつて私自身利用させていただいていた。いろいろな所の公民館でやるとなれば、それなりの広報的なものが必要となるのではないか。今までは毎月第二木曜日に幕張公民館へ午前中行けば、赤ちゃんがたくさんいるということがわかっていたので参加していた。行ったけれどもやっていなかったと残念なことの無いようにしてほしい。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今年度の要望ではなく、次年度への取り組みに対して意見があればお願いします。

門 脇 委員	・人を集める設備や慣れた事業として取り組んでいる公民館が行うのが良い。
東 野 副委員長	・資格を持った人が公民館に来てほしいということではなく、子育てサポーターと同じようなことをしているボランティアの人たちにも僅かな予算が出ないだろうかということではないか。見えないところでも熱心に取り組んでいるボランティアの人たちのために、予算が付かないのであれば少しでも予算が付くように検討して欲しい。
永 野 幕張公民館長	・各公民館には主催事業用として予算を配布している。それを利用してもらえればよい。子育て事業の位置づけとして、子育て講座を企画することで謝礼を支払うことはできる。
竹 内 委員長	・「子育てママのおしゃべりタイム」の予算は完全に別の予算である。各公民館で行っているボランティアの人たちに対して支払う予算は、各公民館に均等に配られているので、報償費等は各公民館ごとに検討し支払うことができるということでしょうか。
大 矢 委員	・現場によりそったやさしい考えが欲しかった。20回もやっているならば、幕張で固定ではなく、巡回でもいいし花見川区全体で使用してほしいということを書いてきた。
竹 内 委員長	・この問題に関しては、歴史があり、当初は巡回して各公民館でやらないかということでスタートした。しかし、現実には各公民館では運用できなかった。そこで、地理的、スペース的に見て対応できそうな幕張公民館で一応このような形で取り組んできた。希望する公民館があるか募ってみて、あれば来年以降に計画を前向きに検討していただきたい。
服 部 委員	・今年は工事が入るので2回少ないということは、予算も減っているということか。
若 梅 主査補	・予算も8000円減っています。
服 部 委員	・減っていなければ、その時他館を利用と思った。
竹 内 委員長	・今までの件については、どんなことが検討できるのか、公民館にお願いしたいと思います。 それでは、27年度の事業計画についてまとめてよろしいでしょうか。 (拍手) ・ありがとうございます。 ・その他、何かありますか。
永 野 幕張公民館長	・2点報告があります。1点目は10月、11月に空調工事に伴い休館する。休館期間中、幕張公民館の使用団体が周辺の公民館に使用申請した際はよろしく願います。

	<p>2点目は、犢橋公民館の建て替えについて平川公民館長から報告があります。</p>
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・平川館長よろしくお願ひします。
平川 犢橋公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・(資料配布) 昭和45年に現在の地に建てられた。今年度末をもって閉館し、その2年後に現在と同じ場所に建て替えされる。複合施設として市民センターと一緒にあります。貸出する部屋が4室、ホールはこの幕張の3分の2の大きさで、講堂は舞台と防音装置付きです。かなり大きな授乳室やエレベーターも設置されます。交通の便が悪いので駐車場は最低でも20台は確保したいと要望している。バリアフリーとして、お願ひしている。現在、当公民館は、玄関でスリッパに履き替えているため、とてもきれい。平成30年4月に完成するので、概ね2年間休館になる。そのため活動している約40のサークルに不便をかけるので、周辺の施設で活動ができるよう昨年8月に2回、11月に1回、2月に2回、今月上旬に2回、地域の方々やサークルごとに説明会を開いた。他の公民館やコミュニティセンター、更に地域福祉交流館や北リサイクルプラザなどに、建て替えによる理解と協力をお願ひしている。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。何か質問はありますか。
大矢 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2年間は何もやらないというのはどんなものか。土地柄から代替え地を用意し建設してから移るということはできないのか。
平川 犢橋公民館長	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような話も説明会で出ました。高齢の方が多いいこともあり、2年後戻ってこられない人が多いと思う。かつては、新しい場所に建てて、移るという方法が一般的だったと思う。いろいろ検討した結果、最終的にこのような方法になった。工事の2年間で少しでも短くなるようにお願ひしているところである。
竹内 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・館長からかなりの働きをかけたが、このような結果になったと理解してください。その他になれば、以上で本日の議題は終了します。熱心に審議いただきありがとうございます。事務局に返します。
斉藤 幕張公民館副館長	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。以上をもちまして、平成27年度第1回運営審議会を終わります。

問い合わせ先

千葉県教育委員会 生涯学習部 幕張公民館

電 話 043-273-7522